

在宅就労支援プログラム 就労準備 ⑤

2020/05/01(金) a.m.

一般社団法人リエンゲージメント



本日のテーマ

「オープン就労とクローズ就労」



オープン就労、クローズ就労とは

- オープン就労（障害開示就労）
 - 雇用主に自分の障害を開示して働くこと
- クローズ就労（障害非開示就労）
 - 雇用主に障害を伝えずに働くこと



求人の種類

- 障害者求人
 - 障害者手帳の所持者向けの求人
⇒ 障害者が応募⇒採用⇒**オープン就労**
- 一般求人
 - 雇用主の応募条件さえ満たせば誰でも（障害者でも）応募できる求人
⇒ 障害者が障害を非開示で応募⇒採用⇒**クローズ就労**



障害のある人が一般求人に応募する場合は、原則として障害非開示（クローズ）ですが、障害を開示（オープン）にして就労が可能な場合もあります。



オープン就労のメリット

- 障害特性に応じて配慮を受けることができる
 - 勤務形態
 - 業務内容
 - 配属先
 - 体調が悪い時の配慮
- 支援機関と就労先が連携した定着支援が受けられる
 - 定期的な企業訪問面談
 - メールや電話を利用した連携
 - ジョブコーチの利用ができる
- 障害を開示できることによる安心感がある
 - 職場で「病気のことが知られるのでは？」という不安を抱かなくて済む
- 雇用主は障害特性に応じた仕事の割り振りができる
- 雇用主の障害者雇用率がアップする



オープン就労のデメリット

- 求人数が比較的少ない
- 業務が限られる
- 給与水準が比較的低い
- 障害者としての扱いを受ける



クローズ就労のメリット

- 人数や求人職種が多い
- 給与水準が高い傾向にある
- キャリアアップしやすい



クローズ就労のデメリット

- 障害特性に応じて配慮を受けることができない
 - シフト勤務、残業、休日出勤を求められる可能性
 - 苦手な仕事を求められる可能性
 - 障害が理由と理解してもらえない
 - 体調が悪い時の配慮してもらえない
- 支援機関と就労先が連携した定着支援が受けられない
 - 定期的な企業訪問面談や上司と情報共有ができない
 - 仕事上の悩みや問題は自分で解決しなければならない
- 障害を開示していないことによる不安感がある
 - 職場で「病気のことが知られるのでは？」という不安が常になり、ストレスになる
 - 気付かれないように服薬、通院をしなければならない
- 障害が理由で仕事が上手くいかなくても、理解してもらえない
 - 能力不足と判断される
 - 評価が下がる



一般求人での障害開示就労について

- メリット

- 求人数、職種が多い
- 障害を隠さないですむ
- 具合が悪いときに正直に言いやすい



- デメリット

- 障害非開示（クローズ）の人や健常者に比べて採用される可能性が低い
- 開示しても配慮してもらえないとは限らない
- 障害のない人と同様のパフォーマンスを求められる

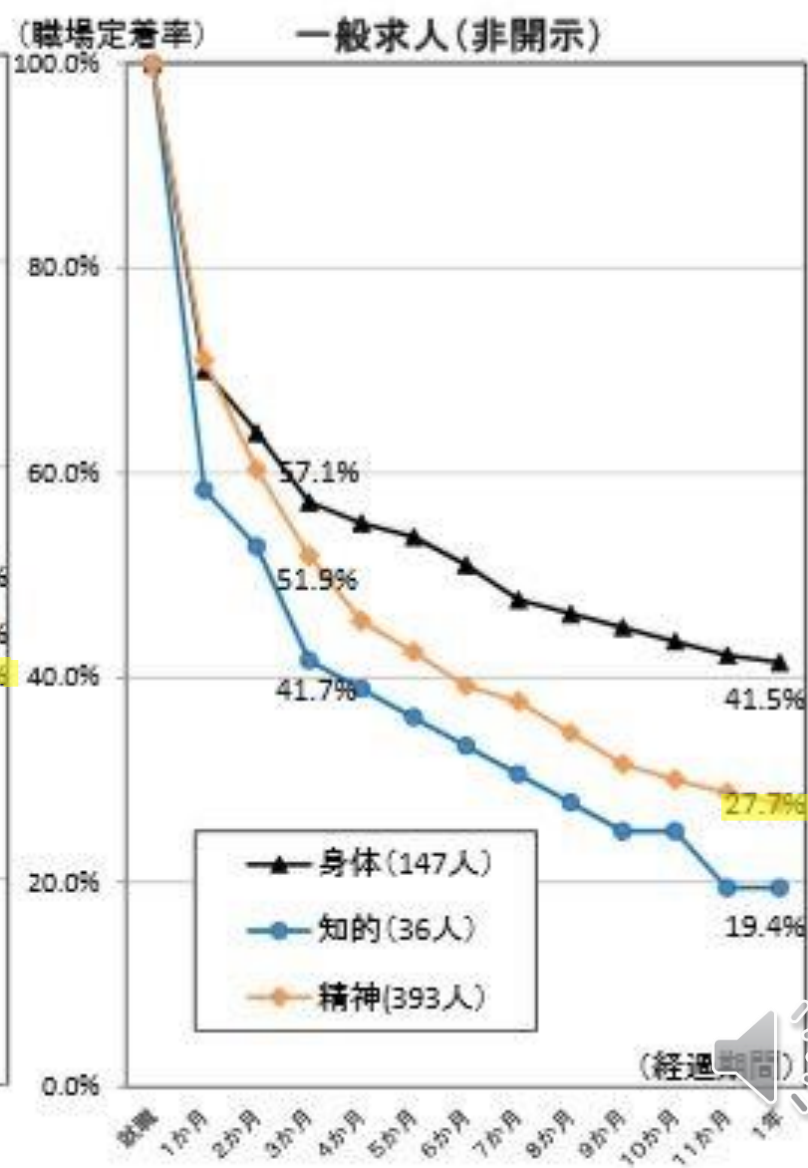
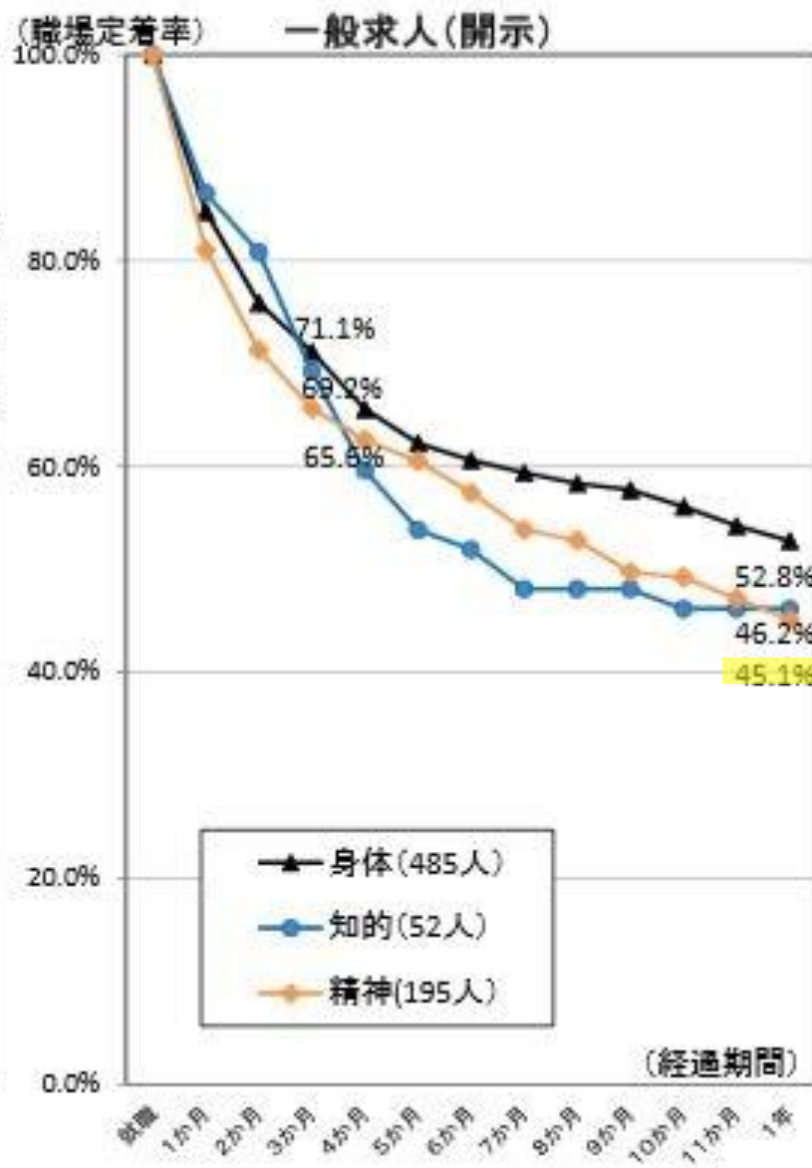
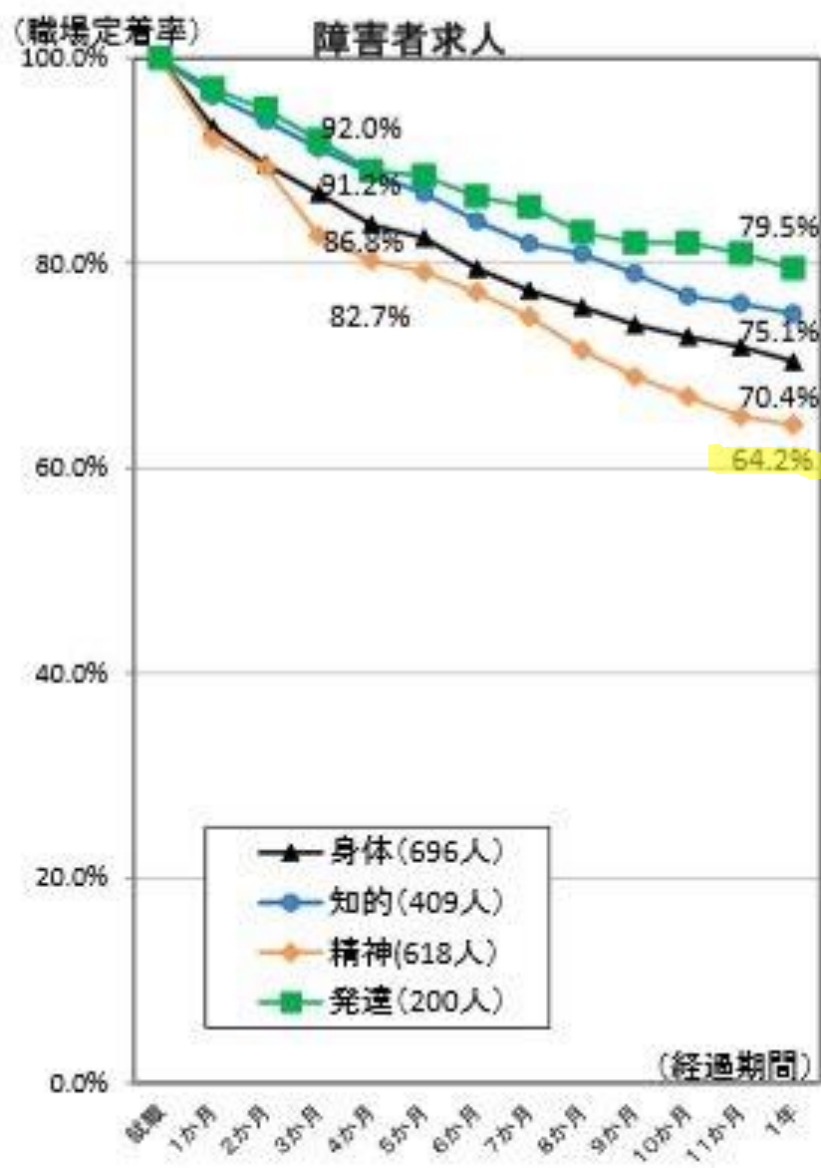


オープン就労とクローズ就労の定着率の違いについて



障害者の定着状況について（求人種類別・障害種別）

「障害者雇用の現状等」
平成29年9月30日・厚生労働省職業安定局



オープン就労のメリット

- **障害特性に応じて配慮を受けることができる**
 - 勤務形態
 - 業務内容
 - 配属先
 - 体調が悪い時の配慮
- **支援機関と就労先が連携した定着支援が受けられる**
 - 定期的な企業訪問面談
 - メールや電話を利用した連携
 - ジョブコーチの利用ができる
- **障害を開示できることによる安心感がある**
 - 職場で「病気のことが知られるのでは？」という不安を抱かなくて済む
- **雇用主は障害特性に応じた仕事の割り振りができる**
- **雇用主の障害者雇用率がアップする**



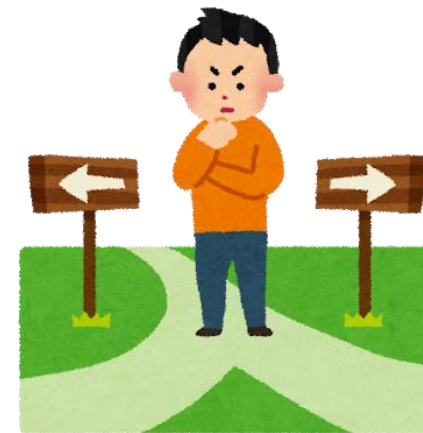
オープン就労とクローズ就労のどちらを選ぶか

- オープン就労でもクローズ就労でも必要なのは？
 - 職業準備性
 - 自己理解
 - セルフマネジメント
- オープン就労で求められるのは
 - 障害に応じた配慮を求められること
 - ストレスや疲労を感じたときに適切に相談できること
- クローズ就労で求められるのは
 - 自分の障害、障害特性を深く理解していること
 - ストレスや疲労を感じたときに対処できるセルフマネジメント力があること



オープン就労とクローズ就労のどちらを選ぶか

- オープン就労、クローズ就労にはどちらもメリット、 デメリットがあります
- どちらの就労が自分に合っているかよく考えましょう
- 迷ったら「長く安定して働けるかどうか」で検討してみましょう
- 主治医や支援員に相談してみましょう



[ワーク]

① オープン就労のメリット・デメリット、クローズ就労のメリット・デメリットで挙げた項目からあなたが重要だと思うものを3つ選んでください。

その3つについて、それぞれなぜそれが重要なのか、理由を考えてください。

② 現時点であなたはオープン就労、クローズ就労のどちらを希望するか考えてください。希望した理由とそのタイプの就労をするために、これから何に取り組んでいく必要があるか考えてみてください。

上記課題の実施結果についてメールで報告してください。報告の形式は、メールに直接打ち込んでも構いませんし、Word等を添付でも結構です。

プログラムはここで終了です。お疲れ様でした。



